

記入例

※20号タンクも、この様式を使用します。

様式第4の二（第4条、第5条関係）

屋内タンク貯蔵所構造設備明細書

事業の概要		1 ホテル（暖房用ボイラーの燃料貯蔵）						
2 タンク専用室の構造	壁	延焼のおそれのある外壁	RC造（耐火構造）		床	RC造（耐火構造）		
		その他の壁	RC造（耐火構造）		出入口	特定防火設備（しきい高さ 30cm）		
	屋根	RC造（耐火構造）		その他	タンク室面積 25㎡			
3 建築物の一部にタンク専用室を設ける場合の建築物の構造	階数	地上4階 地下1階	設置階	地下1階	建築面積	600 m ²		
	建築物の構造概要		RC造（耐火構造）					
タンクの構造、設備	形状 4	縦置円筒形		5 常圧・加圧（kPa）				
	寸法 6	内径 1000mm 高さ 2500mm		容量 7	2000ℓ			
	材質、板厚 8	材質 SS400 板厚 4.5mm						
	通気管 9	種別	数	内径又は作動圧				
		無弁通気管	1	50 mm kPa				
	安全装置 10	種別	数	作動圧				
なし			kPa					
液量表示装置 11	フロート式自動液面計	引火防止装置		㊟・無 12				
注入口の位置	1階北東側外壁 13	注入口付近の接地電極		㊟・無 14				
ポンプ設備の概要	15 移送ポンプ（0.3Mpa）1基，返送ポンプ（0.5Mpa）1基							
採光、照明設備	16 蛍光灯	換気、排出の設備			17 換気 自動強制 排出 強制			
配管	18 SGP白							
消火設備 19	第4種消火設備（二酸化炭素消火設備）移動，第5種消火設備〇〇 消火器10型2個		警報設備 20		自動火災報知設備			
工事請負者住所氏名	21 〇〇県〇〇市〇〇町〇番地 〇〇設備(株)〇〇〇〇 電話〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇							

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 建築物の一部にタンク専用室を設ける場合の建築物の構造の欄は、該当する場合のみ記入すること。

[構造明細書記入要領]

- ア 各欄の該当しない部分は、「／」、「—」、「なし」等を記入し、該当する部分がないことを明確にする。
- イ 製造所又は一般取扱所の20号タンクの場合は、4から14までについて、上記に従って記入し、そのほかの欄は斜線を記入する。
- 1 事業の概要は、貯蔵所が設置されている事業所の事業内容、貯蔵目的等を記入する。
(例) ホテル(暖房用ボイラーの燃料貯蔵)
区役所(非常用発電機の燃料貯蔵)
公衆浴場(給湯用ボイラーの燃料貯蔵)
 - 2 タンク専用室の構造は、貯蔵所(建築物の一部に貯蔵所を設ける場合は、貯蔵所に係る部分)の構造等を記入する。
その他の欄は、建築物の一部にタンク専用室を設ける場合にタンク室の面積を記入する。
 - 3 建築物の一部に設ける場合の建築物の構造は、申請する貯蔵所が設置される建築物全体の構造等を記入する。
ア 設置階は、貯蔵所が設置される階を記入する。
イ 建築面積は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入する。
 - 4 形状は、縦置円筒型、横置円筒型、角型、楕円型等を記入する。
 - 5 常圧・加圧は、タンクの貯蔵貯法を○で囲み、加圧の場合は圧力を記入する。
なお、常圧とは、正圧又は負圧で5キロパスカルを超えないもの。
 - 6 寸法は、次により記入する。
 - ・ 縦置円筒型は、内径及び側面板の底部からトップアングルまでの高さ
 - ・ 横置円筒型は、内径、胴長、鏡出及び全長
 - ・ 角型は、縦、横、高さ
 - ・ 楕円型は、長さ、幅、高さ、最大幅等特徴的な部分の長さ
 - 7 容量は、危政令第5条第2項に規定するタンクの容量を記入する。
なお、製造所又は一般取扱所に設ける20号タンクで、危政令第5条第3項に規定する一定量を超えることがないタンクは、その一定量を記入する。
 - 8 材質、板厚は、タンクのそれぞれの部分の材質及び板厚を記入する。
なお、材質は、J I S規格番号又は材料記号を記入することもできる。
 - 9 通気管は、タンクに設置される通気管の種別、設置数、内径を記入する。
なお、大気弁付通気管の場合は、作動圧についても記入する。
 - 10 安全装置は、タンクが圧力タンクの場合に安全装置の種別、設置数、作動圧を記入する。
 - 11 液量表示装置は、タンクに設置される液面計の型式等を記入する。
 - 12 引火防止装置は、有・無のいずれかを○で囲むよう記入する。
 - 13 注入口の位置は、タンクに移動タンク貯蔵所等から受け入れるために設置される注入口の設置場所を記入する。

なお、製造所から配管により受け入れる場合等は、「なし」又はその旨を記入する。

(例) ○○棟東側外壁

○○棟（製造所）から配管で注入

- 14 注入口付近の接地電極は、有・無のいずれかを○で囲むよう記入する。
- 15 ポンプ設備は、タンクに受け払いを行っているポンプの種類、最大吐出圧力、原動機の種類等及び設置数並びに防爆構造の種別又は記号を記入する。
- 16 採光、照明設備は、貯蔵所に設置する採光及び照明の種類、設置個数を記入する。
- 17 換気、排出の設備は、換気、排出の設備に分け、種別（自然、強制、自動強制）設備種類、設置台数等を記入する。
- 18 配管は、製造所等で使用する配管すべてについて材質、外面保護等を記入し、J I S規格番号又は材料記号を記入することもできる。
- 19 消火設備は、貯蔵所に設置される消火設備について、危政令別表第5に規定する区分、設備名、設置数等を記入する。
(例) 第4種消火設備（大型○○消火器20kg）1個
第5種消火設備（○○消火器10型）5個
- 20 警報設備は、危規則第37条に規定する区分のうち、貯蔵所に設置されるもの及び義務又は任意の別を記入する。
- 21 工事請負者住所氏名は、工事請負者の住所、氏名（法人は、主たる事業所の所在地、法人名及び担当者名）及び連絡先の電話番号を記入する。